

科目名	建築一般構造	英語科目名	Introduction of Building Construction
開講年度・学期	平成21年度・前期	対象学科・専攻・学年	建築学科2年
授業形態	講義	必修or選択	必修
単位数	1	単位種類	履修単位 (30時間単位)
担当教員	大島隆一	居室 (もしくは所属)	建築棟2階デザインスタジオ
電話	0285-20-2844	E-mail	o-shima@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
次年度以降に建築を学ぶための基礎固めとして建築用語を覚える。 1. 建物の仕組みおよび部材のおさまりを把握する。 2. 部材名称およびその定義を正確に覚える。 3. 各種構造形式の原理、特徴および構造等について説明できる。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
定期試験により評価する。			
評価方法			
中間試験および定期試験の結果、授業中の演習の結果を加重平均する			
授業内容			
01. (1週) ガイダンス(建築学体系、シラバス、試験、教科書)、建築物とは、建物構成、RC造の出来るまでビデオ 02. (1週) 鉄筋コンクリート構造：RC造の主材料、特徴、形式 03. (1週) 鉄筋コンクリート構造：RC造のラーメン構造、壁式構造 04. (1週) 鉄筋コンクリート構造：RC造の壁式、基礎／鉄骨構造：S造の出来るまでビデオ 05. (1週) 鉄骨構造：S造の特徴、形式、骨組 06. (1週) 鉄骨構造：S造の鋼材、ボルト、溶接、柱脚、その他 07. (1週) <中間試験> 08. (1週) 試験回答説明、木質構造：W造の出来るまでビデオ 09. (1週) 木質構造：W造の特徴、形式 10. (1週) 木質構造：W造の基礎、床組 11. (1週) 木質構造：W造の軸組、壁・耐力壁、小屋組、屋根 12. (1週) 木質構造：W造の接合・継手・仕口、接合金物 13. (1週) その他の構造：混構造、PCa工法、平板構造、組積造・補強コンクリートブロック構造、SRC/CFT造 14. (1週) その他の構造：PC構造、チューブ構造、メガストラクチャ、トラス・スペースフレーム、吊り構造・張弦梁構造、アーチ・ヴォールト構造、シェル構造、折板構造、膜構造 <定期試験> 15. (1週) 試験解答説明			
キーワード	建築用語、各種構造		
教科書	「図解事典建築の仕組み」・彰国社、「建築構造用教材」・日本建築学会編		
参考書	---		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	③		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			

JABEE基準Iの(1)との関係	---		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築概論、建築製図I		
現学年の関連科目	建築製図II		
次年度以降の関連科目	建築材料		
連絡事項			
建築部材の名称や専門用語をそのしくみ・形状をイメージしながら学ぶ。 各部材の構成を立体的にイメージできるようにトレーニングする。 普段から建築を見て、そのしくみをイメージする、また把握する。			
シラバス作成年月日	平成21年3月25日		